

親子で加工用トマトの栽培体験！～地元農家も初めてで、料理に感動～

事業実施主体：ベル農会(三重県・松阪市)

- 事業実施主体であるベル農会は、松阪農業公園ベルファーム内の農家市場(直売所)に出荷する生産者で構成された組織(会員数252名)。
平成24年度から地域の子ども達を対象に、毎年、テーマを変えながら教育ファーム事業を実施。
- 令和元年度は、県内の親子(19家族60名)を対象として、加工用トマトの栽培を通じ、食文化を学ぶ機会を創出。
- トマトの栽培体験(学習会、苗植え、観察会、収穫)、調理体験を実施。



【取組の内容】

○ トマトの栽培体験

学習会(4月・7月)では、講師のカゴメ株式会社より、トマトの歴史や世界のトマトの消費動向、生食用トマトと加工用トマトの栄養価の違いなど幅広い観点から説明。
苗植え体験(4月)、観察会(6月)では、講師のカゴメ株式会社より技術指導を受け実施。
収穫体験(7月)も実施。
日々の管理は、ベル農会が実施。



学習会



苗植え(マルチの設置)



収穫

○ 調理体験

調理体験(生加工用トマト)(7月)、調理体験(冷凍加工用トマト)(8月)、まとめ会(9月)を実施。
調理体験では、「野菜ソムリエコミュニティみえ」の協力を得て、収穫したトマトと地場産物のタコを使った炊き込みご飯及び地場産物の小麦粉を使ったピザ作りなどに挑戦。



調理



トマトとタコの炊き込みご飯

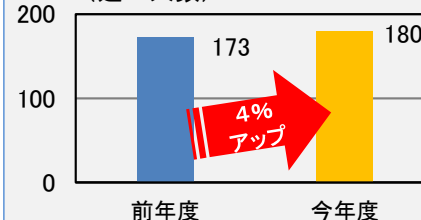
【取組の成果】

- 栽培・調理体験を通して「食」に携わる人たちへの感謝の気持ちを育むと共に、地場産物への意識が高まった。

教育ファームの参加状況と参加を通じた参加者の行動の変化

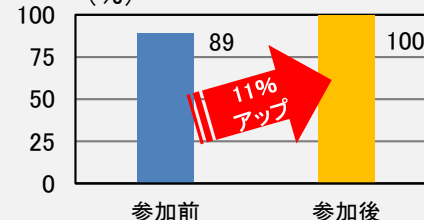
『農林漁業の体験者数』

(延べ人数)



『国産や地域の食品を選ぶ』割合

(%)



<参加者の感想>

- 子どもが、自分の植えた苗にトマトの実がなっていることにすごく感動していた。
- 「トマトの苗」を植えることが楽しかった。
- 加工用のトマトがあることを知りました。味も違う。
- 子どもが、料理を作ることに興味を持ってくれました。
- 自分で収穫したトマトで料理をつくり食べた事が嬉しそうでした。